

おがまち日奈久ニュース

十五夜綱引き

4年振りに開催

9月29日(金)にきれいな満月の中、約100人の参加者、見学者のもと十五夜綱引きが行われました。

24日(日)7町内が合同で綱引きをしました。練った綱は、ばんぺい湯前に展示していました。

29日(金)午後7時、おごそかな雰囲気の中、小林宮司によって神事が執り行われました。十五夜保存会町田会長をはじめ4人の玉串奉納があり、神事は終了しました。次に、今回は曳き回しはせずに、縄を会場まで移動させると、約35mの綱が見えなくなるくらい人が集まり、綱を持ちました。ピストルの合図で一斉に綱を引き、久しぶりにできる綱引きに喜びの表情が浮かんでいました。提灯も中央に集まり、十五夜の雰囲気が高めてくれました。3回の綱引きがあり、結果に一喜一憂し大きな歓声が響いていました。観光客も浴衣姿で飛び入り参加し、往年の綱引きを彷彿させました。福岡県から来た観光客は、「金波楼の建物に感動し、温泉神社の歴史に感銘を受け、老若男女が楽しく参加する綱引きに飛び入り参加させて頂き、我々にとっては忘れられない一日になりました。」と、感想を述べていました。

なお、大坪町、山下町、竹之内町でも開催されました。

「命の大切さ」を学び合う津森小5年生と

10月13日(金)日奈久小5年生13人と津森小5年生20人が合同で、「津森小学校遭難の碑」で清掃と献花、追悼式典を行いました。両校が合同でこのような取組を行うのは初めてのことです。両校は12日(木)から、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」と「集団宿泊教室」を同じ日程で体験し、最後の学習として合同の活動となりました。



観光客も飛び入り参加しての十五夜綱引き

美味しくなりますようにONSENガストロノミーウォーキング試食会実施

10月19日(木)にONSENガストロノミーウォーキングin日奈久温泉の試食会が、16人の関係者でコミュニティセンターにおいて行われました。最初に盛り付け方や量の説明がありました。

試食の後、彩り・食べやすさ・味などについて、たくさん意見が出されました。一つ一つ試した

「命の大切さ」を学び合う津森小5年生と

10月13日(金)日奈久小5年生13人と津森小5年生20人が合同で、「津森小学校遭難の碑」で清掃と献花、追悼式典を行いました。両校が合同でこのような取組を行うのは初めてのことです。両校は12日(木)から、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」と「集団宿泊教室」を同じ日程で体験し、最後の学習として合同の活動となりました。

避難方法を考える日奈久中学校で

10月2日(月)日奈久中学校で全校生徒対象に、防災教育のモデル授業をNPO法人防災WESTの早田氏が行いました。日奈久防災会の桑原秀文会長も子供たちがどのような学びをしているか参観しました。

早田氏は、まず動画や写真を見せながら、防災の基礎知識をおさえた後、ハザードマップの探し方や見方を生徒一人一人にタブレットを实际操作させながら進めました。

そして、ある架空の地域のハザードマップを見て、A地点から避難所まで避難するのに、何を持っていくのか、いつ避難の行動をとるのか、避難するときどのルートを通るのか、



誓いの言葉を述べる2校の代表

令和5年11月号 (第171号) 発行者 日奈久住民自治会

日奈久の人口 (9月末現在)
男 1,077人
女 1,283人
計 2,360人
(前月比-6人)
(2009年末3,444人)

避難方法を考える

日奈久中学校で

「遭難の碑」と周辺を清掃した後、日奈久小村山校長の話があり、両校代表が誓いの言葉を述べました。日奈久小5年生代表の福田紗愛さんは「私たちは1949年の津森小遭難船転覆事故のことを忘れず、自分の命や友達を大切にすることを誓います」と誓いを述べました。その後、献花、黙とうをしました。

遭難事故から74年が経過しますが、日奈久小では毎年10月の「命の日集會」で、遭難事故の際、日奈久の方が懸命に救助活動をされたことを学びます。津森小では11月5日に「命の日学校集會」として、当時事故に

「命の大切さ」を学び合う津森小5年生と

10月13日(金)日奈久小5年生13人と津森小5年生20人が合同で、「津森小学校遭難の碑」で清掃と献花、追悼式典を行いました。両校が合同でこのような取組を行うのは初めてのことです。両校は12日(木)から、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」と「集団宿泊教室」を同じ日程で体験し、最後の学習として合同の活動となりました。

「ありがと」が行き交うまち 日奈久

身近な人に「ありがと」愛する日奈久に「ありがと」訪れる人に「ありがと」

かなどをグループで考えました。生徒たちはグループ内で「小さな子供がいるので・・・」「ここを通ると土砂崩れが・・・」「情報を収集するために・・・」など活発な意見を出していました。出た意見は付箋紙に書き、それを活用紙に貼っていき、班ごとに代表者が発表しました。

最後に、日奈久で災害が起きたとき、どのようにするか時系列に記す「マタイムライン」を作成し、いざという時の心の備えを学んでいました。



グループ内の意見を発表する生徒

盛況だったグラウンドゴルフ大会

10月21日(土)晴天ながら風が冷たい中、34人の参加でグラウンドゴルフ大会が開催されました。6班に分かれ、ホールインワンを夢見ながら、皆さん奮闘しました。笑い声や「惜しい」の声が多く聞かれた大会でした。(主催:日奈久スポーツ協会)

成績は次の通りです。(敬称略)

1位橋口勲、2位田川和子、3位竹内ミエ子、4位久保親弘、5位木村則生、6位榎山トミ子

大会の中のホールインワン達成者は川崎英嗣、米崎孝之、久保賢一、橋口勲、久保豊、榎山トミ子の皆さんでした。



11月の行事から

住民自治会運営委員会から

- 3日(金)文化の日
 - マイナンバー申請窓口設置 (3日、25日、26日)
 - 11日(土)日奈久中学校文化祭
 - 15日(水)温泉神社例大祭
 - 23日(木)勤労感謝の日
- <住民自治会関係会議等>
- 13日(月)市政協力員例会
 - 16日(木)運営委員会
 - 17日(金)広報部会

日奈久歴史散歩

ウソのようなホントの話

工事現場で起きたこと

今から20年ほど前のこと、南九州道二見トンネルの馬越側での工事にまつわるウソのようなホントの話。

(その1) トンネルにさしかかる陸橋脚の基礎工事のときであった。バックフォード掘削していたところ、重機が土に沈み込んでいくという不思議な出来事が何度も起きた。工事の安全に危機感を持った業者は、

ト工事がひととおり済んだある日のこと。馬越側入り口近くのトンネル内で、軽トラックに載せていた「バルーン型照明器」のスイッチを切り、発電機も軽トラックもエンジンを切って一日の作業が終わった。ところが、その夜、人気もないのに照明器も軽トラックも燃えてしまった。

(その3) 同じ馬越側トンネル入り口付近の事であった。舗装工事を行っていたところ、コンクリート舗装機械が調子が悪く、何度やり直しても舗装面が傾き、高さ調整に苦労したそう。

いずれも原因不明で、当時の作業員は不思議な現象に困惑したそうである。

※当時の工事関係者の話をまとめました。



「ありがと」が行き交うまち 日奈久

身近な人に「ありがと」愛する日奈久に「ありがと」訪れる人に「ありがと」

11月の休館日は、11月7日(火) (ホワイデー交換工事のため)と11月21日(火)です。

第24回「九月は日奈久で山頭火」閉幕

コロナウイルスの広がりが少しずつ収まっていく中、猛暑を心配しながら、一ヶ月のイベントが行われました。

ゆめ倉庫のくまモンは、担当者が試行錯誤し、見事、山頭火に変身。訪れた方々を楽しませました。



今回は、熊本学園大から6人の学生が運営に参加しました。地域づくりを学んで今後に生かして欲しいと思います。

【日奈久街並み再発見】

歩いて学んで景品ゲット！

9月23日（土）9時30分～12時15人が参加し、9時30分から池田山頭火の楽しい案内で街巡り。五カ所のクイズでシフォンケーキ・味噌セット・入浴券・ちくわセット・シャインマスカットが正解者にわたり大喜びでした。街巡りの最後に、1名が「ばんべい湯一ヶ月フリーパス券」

をゲット。日奈久の魅力再発見の半日でした。

【山頭火シンポジウム】

13時30分～16時

日奈久スプリングコールの「希望」ふるさとは今もかわらずの美しい歌声でオープニング。14時から 未来の森ミュージアムの鳥津亮さん講演会。「そうだったのか！ 八代と種田山頭火」

愛媛県松山市の子規記念館にある昭和5年に山頭火が書いた「行記」原本、句友に出したハガキなどの資料を再点検し、八代・日奈久でも句を創作・推敲し

「大空の下をゆく何処へ行く」から

「炎天の下を何処へゆく」の句を生み出したと事実を例示しての分かりやすい講演でした。



【おりや句会】

9月26日（火）13時～16時

11人が参加し、55句から「虫の音や 夜空に宇宙ステーション」

吉崎和郎（熊本市）

【山頭火ウォーク】

10月1日（日）9時～15時

曇り空の下、45人の参加者が球磨川河川敷緑地から温泉神社まで13kmのコースを歩きました。おにぎり弁当で一息、温泉につかり疲れをとり、ゆめ倉庫で抽選会。たくさん景品にみなさん大満足でした。



2024年3月、マルタ共和国に留学します

「観光地域作り」を学び、日奈久に生かしたい

西崎七海さん（白百合学園高2年） 大坪町在住



西崎七海さん

西崎七海さんは、官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN」で2023年度派遣留学生に選ばれました。この「トビタテ！留学JAPAN」とは、文部科学省などが行っている留学奨学金制度です。

以前から留学してみたいと思っていた西崎さんは、学校の先生の紹介で受験しました。一次の書類審査では、10項目以上のテーマについて自分の考えをまとめました。中には長文でまとめたものもあり、無事審査を通過しました。二次審査の面接は、福岡であり、パワーポイント

（写真や文字で表現するスライド）を使ってプレゼンテーション（表現や提示すること）したことについて質問されました。厳しい審査を通過して、今回の留学が決まりました。

西崎さんの留学テーマは、「日奈久温泉の町を最高の観光地へ！」です。そのために、「海外の人にも分かりやすい観光マップを作りたい！ SNSを使って日奈久の町をアピールしたい！ ③地域の皆さんの思いを形にしたい！」と考えています。

「留学先のマルタ共和国は、ヨーロッパのイタリアの南部地中海に浮かぶ小さな島国です。島の中心産業は観光で、世界各地から多くの観光客が訪れています。そんな観光客や現地の人たちに、日本に行ったらどんなサービスを受けたいかを聞き、



トビタテ！留学JAPANの旗の前で西崎さん



実行委員長賞 亀山瑠那 (八千杷小4年)



実行委員長賞 岡下実生 (八代工業高2年)

【俳句入賞作品】

【次賞】 柿みて柿みし子の手きつむ

吉崎和郎（熊本市）

【選者特選】 前山光則選

秋霖や深き眠りの日奈久宿

松瀬ひつ江（玉名市）

山下しげ人選

秋の葉夕日のように温かい

本山陽依梨（郡築小6年）

【秀作】

稽古者の藍のおちつく今朝の秋

梶原マサ子（宗像市）

まき下手の身に有り余る星月夜

山田節子（美里町）

秋潮の寄せる岸燈海難碑

真木文字（八代市）

【入選】 佐藤さよ子（熊本市） 白木智子（八代市） 宇野木邦子（熊本市） 力幸子（菊陽町） 畑田孝子（美里町）

・ジュニアの部

【秀作】

秋の空なんもないけどそれがいい

墨木謙心（日奈久小5年）

雪解けて新たな命また一つ

上田脩二（竜北中3年）

【入選】 梅津淳平（郡築小6年） 中村朱里（竜北中3年） 上村右晋（千丁中3年） 中本颯太（八代第二中3年） 橋口蒼生（八代第一中3年）

投票数はジュニアの部617句、一般の部176句でした。

【絵手紙・俳句入賞作品】

【特選】

4年ぶりに日奈久阿蘇神社例大祭が開催されました。

10月14日（土）に行われた前夜祭では、神事の後、かわいい稚児の舞や中学生のダンス、手品に中国琵琶演奏、よさこいダンスなどで盛り上がりました。久しぶりの開催で、多くの観客が秋の宵を楽しみました。

10月15日（日）の大祭では、神事後、小雨がぱらついたために、ちびっ子神輿から始められました。園児達の元気なかけ声が境内に響きました。その後、秀岳館高校の雅太鼓の勇壮な演奏に、会場は一気に盛り上がりました。

園児達のちびっ子相撲の後、赤ちゃん土俵入りでした。今年は当日

申し込みが多く、全部で15人の赤ちゃんが化粧まわしを着け、土俵入りしました。力士に抱かれると大きな声で泣き出す子もいて、会場は和やかな雰囲気になりました。

午後、お楽しみ抽選会で盛り上がりました。請前の新田町の皆さん及び関係者の皆さん、準備から後片付けまで、大変お疲れ様でした。

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り

【入選】



日奈久郵便局賞 富田紗世 (八千杷小5年)



DMOやつしろ賞 楠原なぎさ (八代市豊原下町)



湯の里日奈久振興会賞 渡辺久己 (八代市松崎町)



日奈久温泉旅館組合賞 山本梓乃 (八代市鏡町)

※10月21日（土）日奈久ゆめ倉庫において、各入賞者の表彰式が開催されました。



ばんべい湯賞 山口みゆう (熊本市渡鹿 小6年)



審査員賞 石田泰子 (八代市水碓町)

【佳作】 竹田澄子（日奈久） 今福和歌子 大田輝幸 角義雄 坂田富士子 澤村俊子 鶴崎ソエ子 藤浦裕一郎 藤門葉子 前田タミ子 山田朝子（以上八代市） 五嶋カツエ 坂田靖子（以上山都町） 宮地政弘（奈良市） 齊藤のり子（熊本市） 応募点数 一般91点 子供（中学生以下）41点 計132点

【作品展のお知らせ】

10月22日～11月6日 ホテル潮青閣で全作品展 11月7日～16日（土、日休業日） 日奈久郵便局で受賞作品展



赤ちゃんの健やかな成長を祈る土俵入り



申し込みが多く、全部で15人の赤ちゃんが化粧まわしを着け、土俵入りしました。力士に抱かれると大きな声で泣き出す子もいて、会場は和やかな雰囲気になりました。

午後、お楽しみ抽選会で盛り上がりました。請前の新田町の皆さん及び関係者の皆さん、準備から後片付けまで、大変お疲れ様でした。

